

セボネ

タガヤ ランティア ネットワーク
Setagaya Volunteer Network



災害ボランティアコーディネーター養成講座を支える
先輩コーディネーター

特集

セタボラレポート

まちとひと

おたがいさまビュー

災害ボランティア活動を支えて地域を守る
「コーディネーター」を知っていますか

ケアマフの会、リサイクル市バザー、健康麻雀教室

「スペース ココカラ。」を外出先のひとつにしたい 宮田 敏男さん

【参加者募集】災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編）、
傾聴ボランティア養成講座
ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ

災害ボランティア活動を支えて地域を守る

「コーディネーター」を知っていますか

コーディネーターという言葉を、最近よく耳にするようになりました。様々な分野にコーディネーターと呼ばれる人たちがいて、それぞれの働きをします。災害ボランティア活動で「コーディネーター」と言えば、災害ボランティアコーディネーター、つまり被災地でボランティア活動の調整役を務める人のことです。被災地では、コーディネーターが被災者からの要請などをもとにボランティア派遣計画を立て、被災地支援のために訪れるボランティアを受け入れてボランティア活動を要請し、活動先を紹介するという活動を行います。このようなコーディネーターが被災地でどれだけ重要な役割を果たすのか、過去の被災地での教訓にも学びながら考えてみましょう。



被災地で活動を開始するコーディネーター

災害ボランティアセンターの立上げにより、コーディネーターの活動がスタート

災害時にコーディネーターが活動する拠点を「災害ボランティアセンター」（以下、「災害VC」と略称）と呼んでいますが、この災害VCは、災害が発生した時に被災地の行政や社会福祉協議会が立ち上げるのが通例です。この災害VCの立上げとともにコーディネーターの活動が始まります。ボランティア希望者も災害VCの立上げを待って、そこを目指して各地から被災地に集結します。

これまでの災害VCの立上げ・活動の実例

災害VCとそこでのコーディネーターの活動が災害時のボランティア活動の要ともいえるのですが、その説明の前に、過去の被災地での災害VCの立上げとコーディネーター活動が必ずしも十分であったとは言えないケースについて、その事情に注目しておきたいと思います。そこに

は世田谷にとっても重要な示唆が含まれているからです。

特殊で大規模な被災のため、手が回らなかった被災例

まだ記憶にも新しい東日本大震災では、大規模な津波被害にあった地域や原発事故による被害のために町ぐるみで遠隔避難した地域において、災害VCの立上げやコーディネート活動が思うようには進展しませんでした。そこには次のような特殊事情が関係しています。

▼津波被害を受けた地域では、住民の安否確認、直接死者・行方不明者の捜索、大量のがれき撤去、被災者の生活や健康の維持、その他の災害関連の業務に追われ、全国の自治体から応援職員の派遣を受けるほどの状況でした。そのため、災害VCの立上げは大幅

に遅れ、十分な人手を充てることもできませんでした。

▼原発事故の被災地域では、全住民の避難により地元はもぬけの殻となり、行政が遠隔地に設営した避難所に入った人たちが以外は全国に分散避難したため、災害VCの立上げ自体が進みませんでした。



被災した家屋

被災を想定した具体的準備が不足していた被災例

その後も、全国各地で地震や豪雨などによる大規模な被害が発生しています。そのような被災地の中には、災害を想定した準備が不十分であったために災害VCの活動が大きく立ち遅れたケースも見られます。

世田谷には、災害VCの活動を阻む要因は存在しない

右のような被災例とは異なり、世田谷では

―首都直下地震が近いとしっかりと想定されている。

―被災しても何とか区内にとどまって、生活再建しようとする人が多いはずだ。

という事情があります。つまり、被害や被災者の生活を具体的に想



養成講座の模擬訓練の様子

定しながらボランティア受入れの準備を進める時間が十分にある、その準備をする必要性がとても高いのが、私たちのまち世田谷なのです。確かに、世田谷という大都市が直下型の大震災に襲われた時の被害想定は、とても大規模で深刻なものです。区行政の業務繁多は過去に比類ないものになると想定されます。それでも、否それだからこそ、ボランティアの支援を待つ人たちのために災害VC

がしっかり機能し、コーディネーター活動が活発に展開されなければならぬはずです。

世田谷で積み上げてきた特別手法

そこで世田谷区では、

▼平時から「せたがや災害ボランティアセンター」を立ち上げておく

▼民間団体である世田谷ボランティア協会にこの災害VCの運営を委ねる

▼世田谷ボランティア協会は、この災害VCで活動の主役となるコーディネーターの養成に平時から全力で取り組む

▼世田谷ボランティア協会は、発災後ただちにこの災害VCの活動拠点（サテライト）を区内96カ所に開設して、あらかじめ定めたマニュアルに沿ってコーディネーターの活動を指揮し調整する

というシステムを、すでに2013年から確立しています。

コーディネーターは人を支え、地域を守る

コーディネーターはどのような役割を果たす人なのか、改めて整理してみよう。

▼区内の被災者から、ボランティアにどんな支援活動をしてほしいのか、親身になって聞き取る

▼ボランティアを感謝の気持ちをもって迎える

▼被災者の依頼内容に応じて、適切にボランティアのチームを作り、活動現場に送り出す

▼ボランティアの活動状況を把握しながら、ボランティア活動の継続を図る

このような活動を通じて、コーディネーターは地域や人を支えていくのです。

コーディネーターは 地元ボランティアの務め

このような役割を果たすコーディネーターは、被災地の地元ボランティアであることが本来の姿です。被災地の住民の一人であるからこそ、

▼同じ地域の被災者の苦しみを理解し、真剣に復興を願って活動することができる



スキルアップ講座の様子

▼ボランティアを心からの感謝をもって迎えることができる

▼発災直後から活動することができる

▼平時から仲間とともに学習や訓練をすることができる

▼地元にあるような人が増えることによって、災害に強いまちが実現する
と云うことができるのです。

地元コーディネーターへの 登録とその後

コーディネーターとして活躍するためには、研修活動による学びが必要です。毎年5回行われている基礎講座を1回受講してコーディネーター登録すれば、その後は月1回のスキルアップ講座やコーディネーター同士の交流会などに自由に参加することができます。また、当協会が主催

する被災地でのボランティア活動に参加して経験を深めることや、区内で行われる各種の災害関連イベントへの協力活動などにも参加することができます。

自分の都合に合わせて様々な活動に参加することによって、災害のこと、ボランティア活動のこと、コーディネーターの重要性などについて、日常生活の中で、多角的に学ぶことができます。

新しい自分を発見しよう

私たちの住むまちを、いつ災害が来ても負けないまちにするぞ！ 近くに暮らす者同士で気づかい、助け合うまちにするぞ！ そんな思いとともに自分と地域を見直している自分。そんな自分を想像してみてください。私たちが目指しているのは、大きく言えば「新しい自分の発見」なのです。



ケアマフの会



6月6日、7日に東京国際フォーラムで行われた「第27回認知症ケア学会」の展示ブースで他の4つの団体と共に「マフをケアとして活用する会」でマフを展示しました。

学会に来ていた全国の看護師、介護士、理学療法士、介護ケアの担当者たちが立ち寄り、マフに触れ、マフに手を入れ、マフを実感してもらいました。「現場で使いたい、現場に提案したい」と持ち帰った方もいました。5団体全体で70枚ほどのマフが全国に「嫁」にでていきました。

ケアマフの会では21枚のマフを配布しました。世田谷区内や近くの団体には実際に活動を見に来て、手を入れ、現物を選んでほしいとお話しました。早速、7月の活動日に2つの団体がいらっしやり、見て、さわってマフを持ち帰られました。こうして少しずつ活動が知られ、マフが広がってほしいと思います。これからも皆で楽しみながらマフを作り、提供していきたいと思います。



こんな活動しています！



リサイクル市バザー

世田谷ボランティアセンターでリサイクル市バザーを開催しました！あいにくの雨の中の開催でしたが、たくさんの方々にご来場いただきました。

次回は、12月12日（土）に開催します。提供品の回収日も協会ウェブサイトにてお知らせいたします。（6月25日）

健康麻雀教室

たのしくみんなでワイワイ

世田谷ボランティアセンターで第2回「健康麻雀教室」を開催しました！

この事業は、下馬・野沢地区にお住まいの方を対象とした、健康づくりと地域の居場所づくりを目的とした取り組みです。地域の方をはじめ、会議室利用団体の方など、さまざまな方にご参加いただいています。職員も少しだけ参加させていただきました。参加者の皆さんからは、「楽しかった！5歳若返ったわ！」といった声も聞かれ、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。（7月5日）



【次回】第3回健康麻雀教室

日時：8月8日（土）10時-12時30分

会場：世田谷ボランティアセンター

※参加希望者はセンターに事前にお電話ください

TEL: 03-5712-5101

まちとひと

人がまちをつくり、まちは人を育む。
世田谷で生まれるさまざまな出会いや
活動を紹介します。

「スペース ココカラ。」を外出先のひとつにしたい

宮田 敏男さん
みやた としお

宮田さんは、「ケアセンター with」を利用しながら、「スペース ココカラ。」店長を務めています。明るい人柄が人気で宮田さんの来る木曜日は来店者数が多いそうです。



Q1 - with に通うようになったきっかけ

病気で倒れてしばらく入院していました。退院して自宅療養を始めるにあたり、子どもの保育園時代のパパ友が、たまたま with で働いていた関係で、地域密着型通所介護（デイサービス）を知り、通うことになりました。いまは週に1回通っています。

Q2 - 店長の仕事について

店長といっても、何か役割があるわけではなく、店長としての立場を特に意識してはいませんが、ここに来てくださる人が気持ちよく過ごしてもらいたいと思っています。

ココカラには寄付された様々なジャンルの本を置いてあり、文庫屋という名前の事業も行っているの、本を見に来る方もいれば、ふらっとやって来て初めて会った人と話をして過ごす人もいます。

大袈裟かもしれませんがココカラに来ると心が開放されるように思います。私は、そんな居心地の良いココカラをもっと多くの人に知ってもらい、外出先のひとつに加えてもらえたらなあと思っています。

Q3 - 音楽活動について

もともと歌うことは好きだったのですが、with で出会った人と元小学校の教師という縁で「ティーチャーズ」というグループを作って活動をしています。毎年2月には世田谷高次脳機能障害連絡協議会主催の「春の音コンサート」に with やふらっとの職員の人と一緒に出演するのを楽しみにしています。最近では、家でも昭和の時代の音楽を YouTube で見ることも多いです。

ボランティア募集 有償スタッフ募集 講座・イベント・その他

食事準備・食事介助をしてくださる方を募集

ご利用者が楽しみにしていられる昼食の準備や食事介助をお願いします。

- 日時／平日の 11 時 30 分～ 13 時 30 分（応相談・週 1 回でも可）
- 場所／友愛デイサービスセンター（世田谷区砧 3-9-11）
- 条件／人と関わることが好きな方。特別な資格はいりません
- 問合せ／友愛デイサービスセンター



チャリティーサンタ活動の運営スタッフ募集

サンタクロースとなって、子育て家庭に特別なひとときを届ける活動をしています。

- 日時／月に 1 回の定例会、班ごとの活動
- 場所／都内の施設、オンライン会議
- 問合せ／認定 NPO 法人 チャリティーサンタ南東京支部



【ケアセンター with】外出援助をしてくださる方を募集！

外出の際に車いすを押してくれる方、利用者の方に付き添って一緒に歩いてくれる方を募集しています。

- 日時／月～土曜 10 時～ 14 時ごろ（応相談）
- 場所／公園・美術館・ショッピングモールなどに外出
- 条件／昼食は支給します
- 問合せ／ケアセンター with（ウィズ） 担当：辻川



就労事業所に通う女性に付き添ってくださる方を募集

自宅最寄り駅から区内就労事業所までの行き帰りの付添を必要としています。

- 日時／月～金 週 1 回から可
- 場所／自宅最寄りバス停（駒沢公園近く）事業所（東急世田谷線沿線）
- 条件／女性の方限定、報酬 1200 円 / 1 時間、交通費支給
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー



ボランティア募集 ■ 有償スタッフ募集 ■ 講座・イベント・その他

高齢者デイサービスで調理をしてくださる方を募集

利用者の方々と一緒に、簡単な料理をしてくれる方はいらっしゃいませんか。

- 日時／月曜日 10 時～ 13 時、水・木・日曜日 15 時 30 分～ 17 時、土曜日は応相談
- 場所／社会福祉法人 聖救主福祉会 砧愛の園（世田谷区砧 3-9-19）
- 条件／交通費、謝礼なし
- 問合せ／社会福祉法人 聖救主福祉会 砧愛の園



4 歳の女の子の保育園のお迎えを手伝ってくださる方を募集

夕方保育園にお迎えに行ってくださいの方を探しています。

- 日時／火曜日と木曜日 17 時 30 分（週 1 回でも可）
- 場所／保育園（等々力駅より徒歩約 8 分）→ 自宅（上野毛駅近辺）
- 条件／子育て経験のある女性、交通費なし
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー



子ども食堂でのボランティアを募集

運営や事務のボランティア、調理ボランティアを必要としています。

- 日時／毎月 2 回、原則第 2、第 4 水曜日（水曜日以外になることもあり）15 時～ 19 時
- 場所／弦巻区民センター（世田谷区弦巻 1-26-11）
- 条件／地域で人のつながりを広げたい方、何か役立つことをしたい方
- 問合せ／子ども食堂ウェブ



健康麻雀指導スタッフ募集

点数の数え方の助言をいただけるスタッフを募っております。

- 日時／毎月第 1、第 3、第 4 金曜の 9 時 30 分から正午まで
- 場所／東急目黒線奥沢駅すぐ・奥沢東地区会館
- 条件／指導料、交通費応相談
- 問合せ／高齢者クラブ 天寿会



災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） 参加者募集

世田谷区に大震災が起きたときのボランティア受入とマッチングのしくみ「世田谷方式」とコーディネーターの活動について、わかりやすく学びます。世田谷区民の方だけでなく、どなたでもご参加いただけます。※参加費は無料です。

- 日時／9月5日（土）13時30分～16時30分（予定）※13時より受付開始
- 場所／国士舘大学 梅ヶ丘校舎（世田谷区梅丘 2-9-1）
- 申込み／右記二次元コードから申込み。【締切り：9月3日（木）正午】
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター



傾聴ボランティア養成講座@砧まちづくりセンター活動フロアー 参加者募集（全5回）

ワークやロールプレイなどの体験学習を中心に、話すこと・聴くことをグループで考え、自分の気持ちを感じながら学んでいきます。※8月17日（月）11:00より電話受付

- 日時／9月2日、9日、10月7日、10月14日、21日（各回とも水曜日、13時30分～16時30分）
- 場所／砧まちづくりセンター活動フロアー（住所：世田谷区砧 5-8-18）
- 参加費／8,000円
- 問合せ／砧ボランティアビューロー準備室



個別のサポートを必要としている方へ

困りごとを抱えている方、どこに相談したらいいかわからない方はご連絡ください。どんな解決策があるか、一緒に考えます。

- 問合せ／世田谷ボランティアセンター

市民活動・NPO 相談

グループ・団体の立ち上げや仲間集め、広報のこと、また、会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。（原則として事前予約制です）

- 問合せ／最寄りのセンター・ビューローへ（連絡先は裏表紙をご覧ください）

AI システムによるマッチングサイトのご案内

東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステム（世田谷版 G B E R 「ジーバー」）で、経験や希望に沿ったボランティア活動を紹介します。



活動支援拠点

世田谷発！
ボランティア
生活発見マガジン

セボネ

2026年8月1日発行 2026年8月号 通巻266号 発行人 横山康博 〒154-0002 東京都世田谷区下馬2-20-14 社会福祉法人世田谷ボランティア協会

烏山ボランティアビューロー

〒157-0065 上祖師谷1-11-14(千歳烏山駅 徒歩12分)
TEL 03-6909-0333 FAX 03-6909-0355

千歳烏山駅

スペース ココカラ。

(ぼーとせたがや・パートナーセンター
〒154-0004 太子堂 4-26-9
(三軒茶屋駅 徒歩5分)
TEL 03-6804-0405

明大前駅

梅ヶ丘駅

下北沢駅

北沢ボランティアビューロー

〒154-0022 梅丘1-8-9(梅ヶ丘駅 徒歩5分)
TEL 03-3420-2520 FAX 03-3706-2854

成城学園前駅

砧ボランティアビューロー準備室

〒157-0066 成城6-3-10(成城学園前駅 徒歩3分)
TEL 03-6411-4007 FAX 03-6411-5888

駒沢大学駅

世田谷ボランティアセンター・せたがや災害ボランティアセンター・
せたがやチャイルドライン事務局 TEL 03-5712-5101 FAX 03-3410-3811
ケアセンターふらっと TEL 03-5712-5105 FAX 03-3410-3813
〒154-0002 下馬2-20-14(三軒茶屋駅 徒歩12分)

三軒茶屋駅

ケアステーション連(れん) TEL 03-6805-4716 FAX 03-6805-4718
地域障害者相談支援センター ぼーとせたがや TEL 03-6804-0405 FAX 03-6805-4718
〒154-0012 駒沢1-5-13 ピラ・アベックス駒沢7階(駒沢大学駅 徒歩1分)
▶事務所を駒沢に移転しました。

ケアセンターwith(ウィズ) TEL 03-6805-4715 FAX 03-6805-4718
ケア相談センター結(ゆい) TEL 03-5433-2830 FAX 03-6383-2156
〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋(三軒茶屋駅 徒歩20分)
▶近日事務所移転予定

二子玉川駅

相談・お問い合わせ先

ボランティアについて ▶ 世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー
災害ボランティアについて ▶ セタがや災害ボランティアセンター
リハビリについて ▶ ケアセンターふらっと、ケアセンター with
訪問介護について ▶ ケアステーション連
介護プランについて ▶ ケア相談センター結
障害について ▶ ぼーとせたがや、スペース ココカラ。

玉川ボランティアビューロー

〒158-0094 玉川2-1-15(二子玉川駅 徒歩5分)
TEL 03-3707-3528 FAX 03-3708-3058

Pick Up

- ◆ 9月5日(土)、国士舘大学にて、災害ボランティアコーディネーター養成講座(基礎編)を開催します！
詳細はP.11の二次元コードからご確認ください。
- ◆ ケアセンター with では、外出の際に車いすを押してくれる方、利用者の方に付き添って一緒に歩いてくれる方を募集しています。詳細はP.9の二次元コードからご確認ください。

ととき編集後記

お久しぶりです、編集長の近藤です！約2年ぶりに編集後記をときどき復活しようかと思っています。協会の活動をより紹介できるように先月号から紙面のリニューアルを少しずつしています。
酷暑つづきの日々が続いています。炎天下で活動する方は、水分・塩分をとって、熱中症には十分気を付けてください。センター&ビューローのお休み処もご活用ください。

HP & SNS



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。